大垣キワニスクラブ誕生

国際奉仕団体 県内初、子ども支援へ



大垣キワニスクラブの設立総会＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

国際奉仕団体「キワニスクラブ」の大垣支部にあたる「大垣キワニスクラブ」の設立総会が24日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。キワニスクラブの設立は、県内では初めて。

キワニスクラブは、世界80カ国以上に約21万人の会員がいる奉仕団体。ライオンズクラブ、ロータリークラブとともに世界三大奉仕団体の一つとされている。子どもへの奉仕を中心に活動しており、国内には30を超えるクラブがある。

総会には、西濃地域の企業幹部ら会員37人が出席。初代会長に就任した西脇史雄大垣信用金庫会長は「市民に認められるようなクラブとなるよう、大垣らしい活動に取り組んでいきたい」とあいさつ。事業計画や予算などを承認した。

同市郭町に5月までに事務所を設置するほか、7月6日に認証式など式典を開く予定。奉仕活動としては、病気の子どもが親しむ人形「キワニスドール」や図書の寄贈などを行う。

顧問には田口義嘉壽セイノーホールディングス会長、小川敏大垣市長、土屋嶢大垣共立銀行頭取、小川信也太平洋工業社長が就いた。(舌間隆博)

無断複製・転載を禁じます